

富山市教育委員会会議録

令和6年2月定例会

1 日 時 令和6年2月19日(月曜日)

午後 1時30分 開会

午後 3時15分 閉会

2 場 所 Toyama Sakura ビル8階 教育委員会室

3 出席委員 教育長 宮口克志
委員 若林啓介
委員 藤井久丈
委員 高田健
委員 石動瑞代

4 説明のために出席した者

事務局長	砂田友和
事務局次長(総務・社会教育担当)	古西達也
事務局次長(学校教育担当)・教育センター所長	竹脇孝志
教育総務課長	青山哲也
学校再編推進課長代理	高岡太郎
学校施設課長	高瀬雅基
学校教育課長	福満弘信
学校保健課長	由水正恵
生涯学習課長	加藤孝一
教育センター所長代理	荒瀬誠
民俗民芸村管理センター村長	若木佳之
図書館長	越野伸二
科学博物館長	水高清志
郷土博物館長	坂森幹浩

5 職務のため会議に出席した事務局職員

教育総務課主幹 仙石正明

学校教育課主幹指導主事（生活指導係長）
教育総務課長代理（管理係長）
教育総務課主査

只 石 展 英
塚 本 紘 己
渡 邊 藍 子

6 傍聴人数 0人

7 付議案件

(1) 議案

- 議案第5号 令和6年3月市議会定例会に付議する令和5年度補正予算案に対する教育委員会の意見について
- 議案第6号 令和6年度富山市一般会計予算案に関する教育委員会の意見について
- 議案第7号 富山市公民館条例及び富山市農村環境改善センター等条例の一部改正に関する教育委員会の意見について
- 議案第8号 第3期富山市教育振興基本計画（案）について
- 議案第9号 令和5年度末教員異動方針について

(2) 報告事項

- 報告事項4 専決処分について（令和5年度富山市一般会計補正予算（第8号））
- 報告事項5 専決処分について（令和5年度富山市一般会計補正予算（第9号））
- 報告事項6 市内公立学校におけるいじめ重大事態の市長への発生報告について
- 報告事項7 「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果の概要について

(3) その他

- その他3 富山市科学博物館企画展「立山さんろく 自然の魅力」
- その他4 富山市郷土博物館企画展「館蔵品にみる十村たち～藩主前田家を支えた江戸時代の豪農～」
- その他5 富山市佐藤記念美術館企画展「人物を描く」

8 会議の要旨

【開会】

[教育長] 開会を宣言する。
本日は、委員全員が出席しているため、会議は成立している。

【前回会議録について】

[教育長] 1月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。
[各委員] (意見なし)
[教育長] 意見なしのため、前回会議録は承認された。

【非公開案件について】

[教育長] 議案第5号～7号、並びに報告事項4、5は、3月市議会定例会に付議される案件であるが、市議会への議案説明がまだ行われていない。また、報告事項6は、個人情報を含む案件である。よって、非公開としたいが、よろしいか。
[各委員] 異議なし。
[教育長] 承認を得られたので、議案第5号～7号、報告事項4～6については非公開とし、その他5の後に行うこととする。

【議案第8号】

[教育長] 議案第8号について事務局から説明を求める。
[教育総務課長] (議案第8号について説明)
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
教育総務課長から説明があったとおり、これまでも審議していた
だき、先般の富山市総合教育会議でも話題に上がったところである
が、何か意見等あるか。
[各委員] 意見等なし。
[教育長] 採決を行う。議案第8号について、異議があるか。
[各委員] 異議なし。
[教育長] 異議なしと認める。よって議案第8号については原案どおり可決

した。

【議案第9号】

- [教育長] 議案第9号について事務局から説明を求める。
- [学校教育課長] (議案第9号について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [石動委員] 昨年度から変更した点はあるか。また、新規採用教員の受け入れ状況を勘案した配置について、困難な状況はあったか。
- [学校教育課長] 今年度の教員異動方針について、昨年度と同様であり、変更点はない。新規採用教員について、定年による大量退職の時代を迎え、毎年多数配置している。毎年配置を続けていくと、当然、若手教員ばかりが同じ学校になってしまうこともあり、その辺りを留意しながら進めていきたいと思っている。現在のところ、大きな問題は起きていない。
- [若林委員] 以前にあったので質問するが、今期は人数の面で問題はないのか。
- [学校教育課長] 担任の数が不足していることや、以前にあったような講師の人数が不足していることについては、大きな支障はないと報告を受けているが、県からは慢性的な講師不足であると聞いている。
- [教育長] 今現在、産前・産後休暇や育児休業を取得している教員の代替教員がすぐに配置されず、教務主任が担任を兼務している学校が複数ある。また、数年前、富山市内で始業式に担任を発表できないということもあった。教員の働き方改革と言いながら、人がいないということは、働き方に対する決定的な欠落であると思うので、そのようなことがないよう、県に強く要望しているところである。また、教員異動方針は全く変わらないが、結婚時に居住地を他市町村へ移す教員や、採用された富山市の教員の初任地が、高岡市、氷見市あるいは黒部市等遠方であった場合に、勤務時間の負担軽減を図るため、本人が異動を希望する場合については、その希望ができるだけ叶うように、県内15市町村教育長で申し合わせ等をしているところである。教員の過重な負担を少しでも軽減できるよう、学校の異動においても配慮していきたいと思っている。
- 採決を行う。議案第9号について、異議があるか。
- [各委員] 異議なし。
- [教育長] 異議なしと認める。よって議案第9号については原案どおり可決した。

【報告事項 7】

- [教育長] 報告事項 7 について事務局から説明を求める。
- [学校教育課長] (報告事項 7 について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [若林委員] 設定された質問には、「体育」と「保健体育」が混在しているので、分けて考える必要があるのではないか。保健体育で I C T を活用しているということは、保健と体育の両方の授業で活用しているということではないか。また、学校への質問では「体育授業」と限定している。比較する対象が違うのであれば、比較するのはよくないのではないか。
- [学校教育課長] 小学校では教科名を体育科としており、体育科の中に保健領域がある。一方、中学校では教科名を保健体育科としているため、小学校と中学校の調査結果を直接比較することは難しい。それぞれの児童・生徒と学校の質問紙では同じ言葉を使用している。
- [若林委員] I C T を活用しているのは、体育の授業なのか保健の授業なのかを分けて考えた方がよいのではないか。16 ページの質問にある「体育科の授業」には、保健の授業は含まれているのか。児童・生徒と学校の回答にずれがあるのであれば、比較しても意味がないのではないか。
- [学校教育課長] 児童・生徒と学校で、質問内容の受け止め方が違っている可能性があるので、確認したいと思う。
- [若林委員] 分けて考える必要があると思った。
- [教育長] 全国と比較しているということは、全国の調査でも同じようになっているということである。言葉の使い方がどのようになっているのか、統一した比較をするために確認が必要である。
- [高田委員] 過去と比較すると、さまざまな結果の傾向がみられる。例えば、中学校 2 年生の 20 m シャトルランの回数は、直近の 5 年間で 10 回ほど減っている。極端に低下している種目に着目して、俊敏性、持久力や投球力などを体育の授業で強化して改善するような取り組みはしているのか。
- [学校教育課長] 学校では、学習指導要領に則ったカリキュラムで授業を進めているが、中学 2 年生では持久力を測る 20 m シャトルランの低下が認められるので、以前から運動量を増やすよう、助言・指導を進めている。特に、部活動をしていない場合には、体育の授業が運動量を増やす唯一の時間であると考えられる。しかしながら、現状は体力の降下傾向が止まっていない。

- [石動委員] 令和2年度のデータが記載されていないのは、コロナ禍のため、調査が実施されていないということでしょうか。
- [学校教育課長] お見込みのとおりである。
- [石動委員] 新型コロナウイルス感染症流行の影響もあり、全体的に体力が低下したと推察する。結果が向上している種目もあるが、低下している種目も多いように見受けられる。例えば学校内での怪我が増えたなど、運動能力が低下したことによって、子どもたちの姿に変化がみられるという実感はあるのか。
- [学校教育課長] 体力の低下と学校事故との関連については、調査していないので分からない。体力の低下により何かが起きているかもしれないという視点で、教職員が子どもたちの様々な点を見ていけることをご示唆いただいた。

【その他3～5】

- [教育長] その他3～5について事務局から説明を求める。
- [科学博物館長] (その他3について説明)
- [郷土博物館長] (その他4, 5について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [各委員] 質問等なし。
- [教育長] 以上をもって公開案件に係わる議事は終了したが、その他質問等あるか。
- [各委員] 質問等なし。
- [教育長] 非公開案件に移る。傍聴、マスコミの方はご退席願う。

【議案第5号】※非公開案件（2月19日時点、議案説明会開催前）

- [教育長] 議案第5号について事務局から説明を求める。
- [教育総務課長外] (議案第5号について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [藤井委員] 建設に関わる費用が急激に値上がりしたため、補正せざるを得ないとした件数や金額はどのくらいか。

- [学校施設課長] 今回提出した学校建設費の補正予算案は、国が経済対策関係として、子ども子育て・国土の強靱化・防災対策等の補正予算を組んだため、令和6年度の当初予算で行うことにしていた事業を前倒して実施するものである。ご質問のとおり、実際に工事単価は上がっており、同様の工事を細かく見ていくと何年か前と比較して大分高くなっているが、今回の補正はこれとは違う主旨である。
- [藤井委員] 建設工事費が値上がりした分については、今後、別の補正予算を組むのか。
- [学校施設課長] 仮に、不足が生じた場合には、別に補正予算を組むことになる。ただ、そのような事態が発生しないように予算化しており、現状では予算内に収まっている。
- [教育長] 採決を行う。議案第5号について、異議があるか。
- [各委員] 異議なし。
- [教育長] 異議なしと認める。よって議案第5号については意見なしとする。

【議案第6号】※非公開案件（2月19日時点、議案説明会開催前）

- [教育長] 議案第6号について事務局から説明を求める。
- [教育総務課長外] （議案第6号について説明）
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [藤井委員] イマージョン教育推進事業費について、イマージョン担当ALTとはどのようなイメージの方なのか。
- [学校教育課長] 派遣業務委託において、英語が母語であり、英語教育の理論と実践を兼ね備えた人に来てもらう。朝の会や休み時間などの授業以外の時間にも、自分から子どもたちに英語で話しかけることができるようなコミュニケーション能力に優れた人に来てもらう予定である。
- [藤井委員] 今までのALTの分野に加えて、体育科や音楽科に関しても外国語教育を行うことができる人を選ぶということか。
- [学校教育課長] 今までのALTの他に、授業に入り込んで外国語で授業をサポートする、イマージョン担当ALTを配置するものである。
- [教育長] 今までのALTの業務内容としては、小学校の外国語活動や、小学校高学年・中学校の英語科の授業を担当と共に行うことのみであった。イマージョン担当ALTは、「ネイティブスピーカーふれあい事業」において、フィリピン共和国から採用していた国際交流推進員のように、日常生活や学校生活全般の中で、自由に子どもたちの間に入り、英語で話しかけたり一緒に活動したりすることに

なると思う。そのようなノウハウを持った人を1名派遣してもらう予定である。

[藤井委員] 国際交流推進員として来ていたフィリピン共和国の若者は、いつも子どもたちと親しく、楽しく話をしていた印象がある。今回派遣されるイマージョン担当ALTは、親しく接するだけではなく、今までのALTよりも体育科や音楽科に優れた高度な人材だというイメージでよいか。

[学校教育課長] お見込みのとおりである。教育と英語、どちらも理解している人材に来てもらうことを考えている。

[石動委員] イマージョン教育推進事業費の財源が一般財源ということは、富山市単独の事業ということになる。公立小中学校において、全国的にあまり取り組まれていない事業を今回なぜ推進しようと考えたのか。理由を教えてください。

[学校教育課長] 昨年度の学力調査などの結果を見ると、「書く力」や「聞く力」に関しては概ね良好である。一方、学校の状況や子どもたちの様子を見てみると、自ら英語を話すことや、授業ではない場面で気軽に英語で会話をするということについて、課題があると思う。イマージョン担当ALTの導入により、小学校低学年から英語のシャワーを浴び、英語に浸り、子どもたちが自分から英語で話しかけてみたいという思いを膨らませて、自ら英語を使う環境を作ることができれば、「話す力」が向上するのではないかと考えたためである。

[石動委員] 事業内容には、4小学校に1名のイマージョン担当ALTが参加すると記載されているが、週に何時間ほど子どもたちと接することになるのか。

[学校教育課長] 水橋地区の4小学校において、各学校につき、毎週決まった曜日と月1回の月当たり5回程度、参加してもらう形で進めていきたいと考えている。

[若林委員] とてもいい取り組みだと思う。事業を段々と拡大していく予定なのか。

[学校教育課長] できればイマージョン教育のイメージを横展開で他の学校にも広げていきたいと思う。まずは、令和6年度に4小学校で実施し、効果的な在り方について検証し、効果があれば、拡大していく可能性も視野に入れて考えている。

[教育長] 採決を行う。議案第6号について、異議があるか。

[各委員] 異議なし。

[教育長] 異議なしと認める。よって議案第6号については意見なしとする。

【議案第7号】※非公開案件（2月19日時点、議案説明会開催前）

- [教育長] 議案第7号について事務局から説明を求める。
[生涯学習課長] （議案第7号について説明）
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[各委員] 質問等なし。
[教育長] 採決を行う。議案第7号について、異議があるか。
[各委員] 異議なし。
[教育長] 異議なしと認める。よって議案第7号については意見なしとする。

【報告事項4】※非公開案件（2月19日時点、議案説明会開催前）

- [教育長] 報告事項4について事務局から説明を求める。
[教育総務課長外] （報告事項4について説明）
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[各委員] 質問等なし。

【報告事項5】※非公開案件（2月19日時点、議案説明会開催前）

- [教育長] 報告事項5について事務局から説明を求める。
[教育総務課長外] （報告事項5について説明）
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[高田委員] 能登半島地震は元旦に発生したため、学校に児童・生徒はおらず、図書館等の施設に利用者もいなかった。今後、人がいる時間帯に震度5強の地震が起きた場合に、富山市内の小中学校や教育委員会の所管施設において危険な箇所はないのか。また、点検等を行っているのか。
[学校施設課長] 学校施設に関しては、耐震調査済みであり、毎年の定期点検も実施している。当初予算計上している学校施設整備事業費において、外壁の剥落等の修繕等に対応しており、令和6年度には音楽室等で使用している折れ曲がり天井を外す設計費用も含まれている。この折れ曲がり天井は、耐震計算上の問題はないが、実際は危険な可能性があるため外すこととしている。このように、施設の耐震検査を適時行っている状況である。
[高田委員] 今回の地震で、学校内の本棚やロッカーが倒れたなど、実際に物が倒れた被害はあったのか。

- [学校施設課長] 小さな物は倒れたかもしれないが、人命に関わるような大きな被害はない。新庄北小学校では液状化現象により、校舎に問題はなかったが、グラウンドや地面に問題が起きたという被害があった。
- [生涯学習課長] 公民館などの社会教育施設についても、令和4年度ですべて耐震化は完了している。今回の地震での大きな被害報告は受けていない。営繕課による毎年の定期点検等で不備が見つければ、直していきたいと考えている。
- [若林委員] 財源に、国庫支出金が含まれている事業と、市債や一般財源だけで賄う事業があるが、地方交付税措置により後から補填してもらえる見込みはあるのか。
- [学校施設課長] 能登半島地震に関連する事業の内、起債が入っている事業に対しては、50パーセントから80パーセントの措置率で、交付税措置がされる。財源に国庫支出金が含まれている事業は、学校施設課所管事業のみであるが、国の補助を使うと、最低限の修繕では認められず、厳格な決め事に基づいた修繕をしなければならないため、大規模な事業をピックアップして、国庫支出金の対象としている。
- [藤井委員] 今回の地震により、致命的な損傷を受けた建物はないと思うが、災害復旧にかかる工事費は、全体としてどのくらいなのか。
- [学校施設課長] 学校施設に関しては、資料に記載のとおり約一億一千四百万円弱の見込みである。現在、少しずつ工事を発注している最中なので、事業費が若干前後する可能性はある。
- [藤井委員] 後からになって復旧工事が必要だと判明した場合はどうなるのか。期限は決まっているのか。
- [学校施設課長] 市の予算の観点からすると、基本的にはこの提出した予算の中で対応するが、不足することがあれば、令和6年度予算の中から捻出して対応する。また、国の補助に関しては、実額を報告した後に交付決定が出るため、新たに復旧工事が必要になった場合は、令和5年であれ、令和6年であれ、国の補助対象にはなる。

《以下、非公開事項のため概要のみを記載する》

【報告事項6】※非公開案件

- [教育長] (報告事項6について事務局から説明を求める。)
- [学校教育課長] (報告事項6について説明する。)

【閉会】

[教育長] 閉会を宣言する。